

6年次でAL型「主権者教育」実施—「R80」活用—

6月16日（木）6時間目に、総合実践室で、6年次生を対象とした「**主権者教育**」を実施しました。講師は、本校公民科の早川尚人教諭（教務主任）でした。グループワークやインタビューなどを駆使した**アクティブ・ラーニング型（AL型）**の講義で、AL指数は「**AL20**」くらいでした。講義の最後には、「**R80**」が実施されました。

「AL指数」「R80」で**何？**と思った方は、ドリーム**第31号・第35号**をご覧ください。私が考案したALに関するもので、この夏、全国に広めていく予定です。

早川先生は、**本質をついた「主権者教育」**を展開していました。特に「**多数決は民意の適切な集約方法なのか？**」という問いかけは、選挙を目前に控えた生徒たちにとって、選挙を深く考える機会になったと思います。いよいよ、**7月10日（日）**は、第24回参議院議員通常選挙です。選挙翌日の7月11日（月）までに誕生日を迎える6年次生は**有権者**となります（本校は50名）。なぜ翌日なのか？ 民法上の解釈では、誕生日前日の午前0時に歳をとるからです。確かに誕生日は、生まれて1年と1日後にありますね。

さて、本日の講義は、最後に「**多数決が暴走しないようにするために**」という課題で「**R80**」が実施されました。生徒が書いたものの一部（5名分）を下に紹介します。

- ◆民主主義は、未だ完成された最も良い政治制度ではない。**しかしながら**、政治に参加し民意を表さなければ意味がなく、**国民の権利**を放棄したことと同様である。
- ◆多数決によっても必ずしも民意の反映されない今の投票は、完璧ではない。**しかし**、私たちはそれを踏まえた上で投票に行き、自分たちが**国政に参加**することから始めるべきだ。
- ◆民主主義は様々な政治形態において最も良いとされている。**しかし**、民意を決めるにあたり決め方を誤れば**本当の民意**とは言えない事など、政治について改めて考え直せた。
- ◆私は今年18歳になったため今度の選挙に参加するが、その意義をあまり感じられなかった。**しかし**、不完全な民主主義を良いものに近づけるため**参加しよう**と思うようになった。
- ◆選挙は、私たち国民の民意を政治に反映させるために参加するべきだ。**しかし**、選挙は必ずしも多数の意見が反映されるわけではないということを踏まえて、**真剣に投票したい**。

皆さん、見事な「R80」です。並木中等生のポテンシャルの高さを感じます。私はALで大切なことは、「**最後に個に戻って考察し、文章に書く**」ことだと考えています。



- ◆本年4月6日にスタートした、校長通信「並木ドリーム」が**第50号**になりました。73日間で50号です。この間、平日は49日でしたので、ここまでは「**平日ほぼ日刊**」です(^_^)v 今後も**楽しく個性的な紙面**を目指して発行してまいりますので、よろしくお願いいたします。